

羅

気仙沼高等技術専門校

2級自動車整備士資格取得が目標
時代にマッチした人材を輩出する

気仙沼高等技術専門校は6カ月課程の溶接科(定員5人)、1年課程のオフィスビジネス科(同15人)、2年課程の自動車整備科(同15人)という3科がある。溶接科ではガス溶接やアーク溶接などの技能を習得。オフィスビジネス科は事務系の資格取得を目標にした授業が行われる。自動車整備科は文字通り自動車の整備方法を学ぶ科だ。

現在、二年生を担当する平賀技術主査は、自動車整備科で学ぶことの意義を「実際に自動車整備の仕事を行うようになったとき、上司や先輩の指示が理解でき、スムーズに仕事に携われる一点を挙げる。ガソリン、ジーゼルという2つの2級自動車整備士資格取得を訓練生たちは目標にし、2年間で2つをクリアしたが、ここ数年は受験者のほぼ100%が合格している」とのこと。まさに企業側が求める人材を輩出し続けている。「他の機器同様、車も時代とともに電子制御化が急速に進んでいます。授業ではもちろん、そうした時代のニーズに応じた内容を教えています」と平賀技術主査。自動車整備士は自動車業界で引く手あまた。就職率は毎年ほぼ100%を誇っている。



平賀技術主査は「自身の整備スキルが運転の安全に寄与する点も自動車整備士の醍醐味」と話す。丁寧で、個々に合わせた指導。訓練生が指導者に寄せる信頼は厚い。自動車整備の基礎を2年間で徹底して学ぶ。

気仙沼高等技術専門校

所在地/気仙沼市大峰山1-174 設置科概要/自動車整備科(2年)、オフィスビジネス科(1年)、溶接科(6カ月)を設置。それぞれガソリン、ジーゼルの2級自動車整備士、簿記検定、ガス溶接技能講習修了証など資格取得に挑む。
TEL 0226-22-7068 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-kougi/>



自動車整備科修了(2021年度)
前田 夏輝さん Natsuki Maeda
宮城日産自動車株式会社 気仙沼店(気仙沼市)

しっかりと自動車の基礎を学べた2年間、
もっと頼られる自動車整備士を目指します。

父親が車好きで、中学生くらいの頃でしょうか、その父から「ワイルドスピード」という映画を勧められて観たところ、車って面白いな、カッコいいなと思うようになりました。高校三年になって気仙沼校の自動車整備科に入りたいと父母に言ったら、母が同校のオフィスビジネス科の卒業生だったことが分かり、びっくりした思い出があります。2年間、気仙沼校で学んで、自動車の構造や点検、整備の進め方などを学ぶことができました。まだまだ技術も知識も足りない自分ではありますが、その経験は今、大いに役立っています。また、現在お世話になっている宮城日産自動車株式会社気仙沼店は祖父が働いていたこともあり、幼い頃から知っている場所です。ありがたい縁を感じながら、自動車整備士として更に頼られる人材になれるよう努力する日々を送っています。

宮城日産自動車株式会社気仙沼店
所在地/気仙沼市田中前3-8-16 TEL 0226-24-2211
<https://ni-miyagi.nissan-dealer.jp/store/393/index.html>



士

技

能

宮城障害者職業能力開発校

社会で役立つスキルが身に付く
適性に合わせ細やかな指導を行う

宮城障害者職業能力開発校は身体障害者を対象とするWebデザイン科とOAビジネス科(1年課程・定員各10人)、知的障害者を対象とする総合実務科(1年課程・定員30人)を設置。このほか短期課程で3科設置されており、精神障害者を対象とする職業開発科(6カ月課程・定員10人)もある。

このうち総合実務科は、ものづくり、物流ワーク、販売管理の3コースに分かれるが、様々な作業にあらじめ触れておくことが将来、社会に出たときに生きる、との考えから、結城政悦主任指導員(訓練第一班長)によれば「個々の適性に合ったコースで学んでもらっていますが、今は、訓練生が総合実務科の訓練内容を横断的に学べるような工夫をしています」とのこと。

毎年、校の訓練生は障害者技能競技大会(アビリンピック)に参加。今年は宮城県大会でメダリストが3人、喫茶サービス種目では優勝者を出し、全国大会へと進んだ。この結果に「まさに日々の訓練のたまものです」と結城主任指導員は頬をゆるませる。なお、丁寧な就職指導により、1年課程の就職率は90%を超える。

総合実務科修了(2019年度)

佐藤 亜衣莉さん Airi Sato

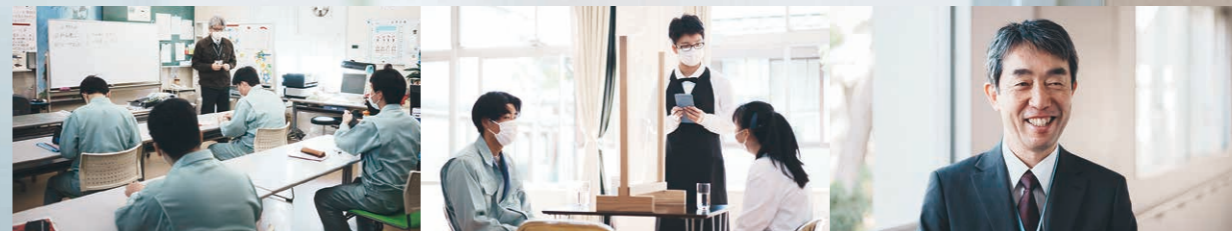
小林製薬チャレンジド株式会社 仙台事業所(大和町)

正しく丁寧な仕事をするのは
宮障校での訓練があったからです。

宮城障害者職業能力開発校では総合実務科の手工芸コース(現・ものづくりコース)で1年間学びました。紙製品の製作、ミシンを用いた縫製作業、掃除や片付け、ビジネスマナーなどを教わりました。ミシンで手提げのバッグを作ったときは、うまくできたことを先生に褒められてとてもうれしかったです。宮障校で学んだことで、今の仕事に最も生きているのは丁寧に作業を進めることの大切さです。このことを常に心掛けるようにしています。私が働く小林製薬チャレンジド株式会社仙台事業所にはメンバーが15人いて、障害に関係なく一緒に掃除やごみの分別など様々な仕事をしています。時には小林製薬の製品づくりもしますが、そういう仕事も面白いですね。職場の人がとても優しいので、楽しく毎日を過ごせています。今やっている仕事をもっとうまくできるように目標に向かって頑張りたいです!

小林製薬チャレンジド株式会社仙台事業所

所在地/黒川郡大和町松坂平4-3 仙台小林製薬株式会社内
TEL 022-380-6622 <https://kobayashi-challenged.co.jp/>



小物入れの紐通し、ループエンドの設置を学ぶ物流ワークコースの訓練生たち

アビリンピックに向けての練習の様子。同期の訓練生も手伝う

「校で学んだことが社会で大いに役立つ」と結城主任指導員

宮城障害者職業能力開発校

所在地/仙台市青葉区台原5-15-1 設置科概要/Webデザイン科(1年)、OAビジネス科(1年)、総合実務科(1年)、オフィス実務科(5カ月)、パソコン基礎科(6カ月)、職業開発科(6カ月)
TEL 022-233-3124 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/miyashou/>



般